

令和8年3月13日

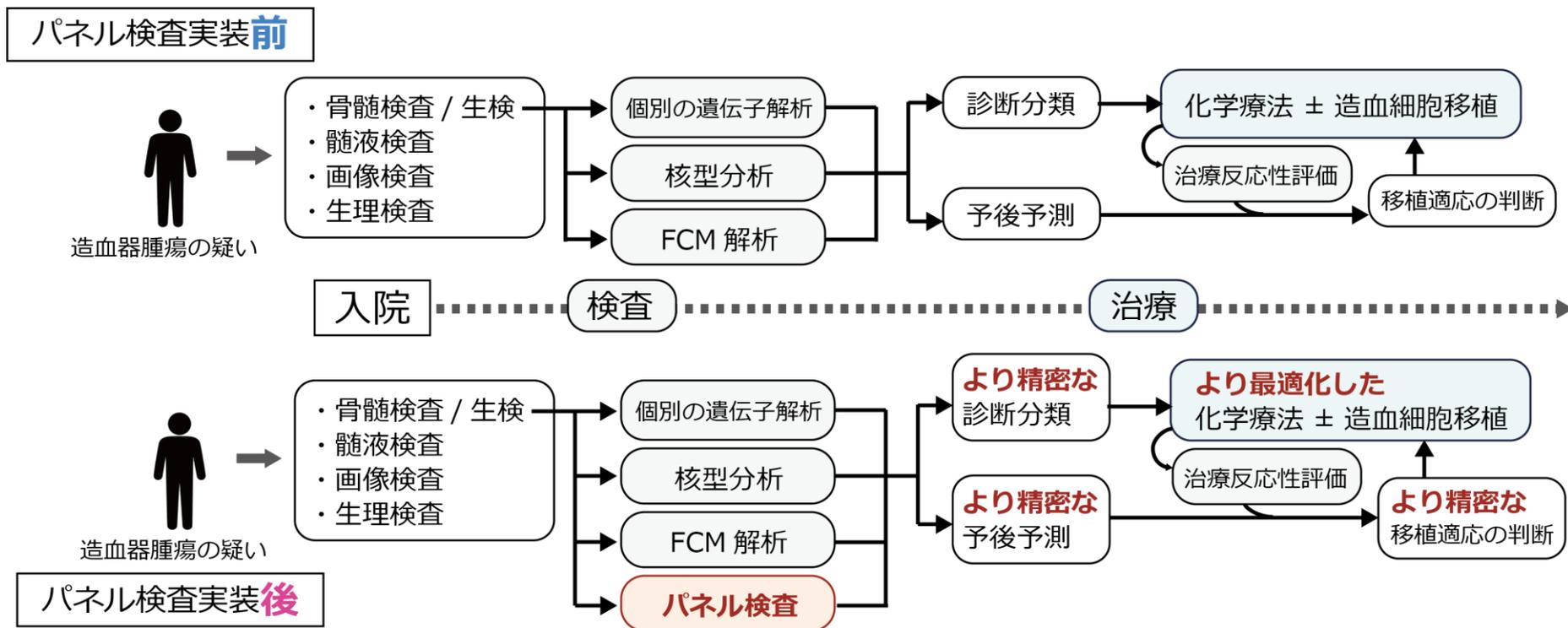
質を確保した造血器腫瘍におけるゲノム 医療提供体制の拡大に関して

坂田 麻実子^{1,2}

¹日本血液学会ゲノム医療委員会

²国立大学法人筑波大学

造血器腫瘍パネル検査を用いた標準的診断のあり方

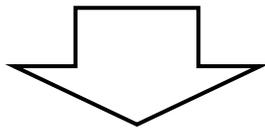


- 診断時から速やかにパネル検査を実施することで、詳細なゲノム情報に基づく精密な治療選択が可能になっている。

- 令和7年3月の実装後、>200件/月が出検されている

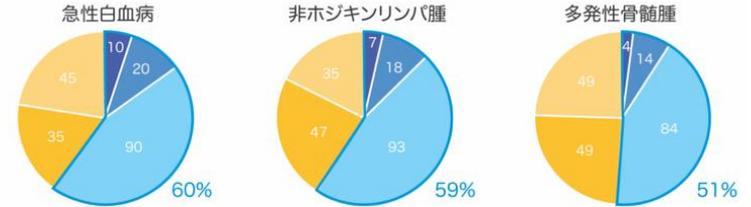
造血器腫瘍パネル検査を用いた標準的診断の課題

- 「造血器腫瘍の診療分布」と「がんゲノム医療提供体制」が必ずしも一致していない
 - 例：日本造血・免疫細胞療法学会の移植認定
 - 施設のうち19%ががんゲノム医療提供体制に加わっていない
- 造血器腫瘍パネル検査の主な対象である急性白血病では、緊急での入院と治療開始の必要があり、入院治療を主に担当している病院での検査が支障なく行える態勢が必要である



- 診療施設側のゲノム医療体制整備にむけた努力にくわえて、**造血器腫瘍臨床診療の現状に沿ったゲノム医療提供体系の構築が望ましい**

厚労省令和元年度DPC退院患者数調査

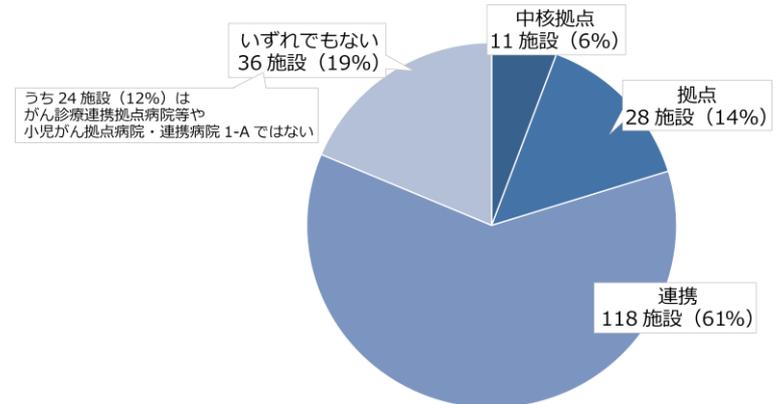


国立がん研究センター2019年度院内がん登録全国集計



■ がんゲノム医療中核拠点病院 ■ がん診療連携拠点病院等または小児がん拠点病院
■ がんゲノム医療拠点病院 ■ いずれにも属さない
■ がんゲノム医療連携病院

厚労科研赤司班（R5年3月一部改訂）
 「造血器腫瘍における遺伝子パネル検査体制のあり方とその使用指針」より抜粋



日本造血・免疫細胞療法学会移植認定施設（N=193）のがんゲノム医療提供体制への参画状況

造血器腫瘍診療体制とがんゲノム医療提供体制の不一致例

群馬県済生会前橋病院

- 同院における造血器腫瘍に対する診療実績は同じがん医療圏（前橋保健医療圏）の地域がん診療連携拠点病院の前橋赤十字病院にやや劣るが、初回治療から同種造血幹細胞移植を検討する急性白血病を中心とした治療実績がある。

○ 前橋保健医療圏に位置する主な医療機関

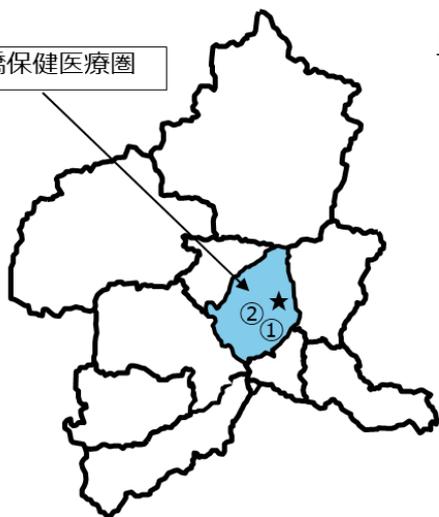
出典：2023年院内がん登録

	病院名	国指定類型	年間固形・血液がん 初回治療開始数
★	群馬大学医学部附属病院	都道府県がん診療連携拠点病院	(固形) 2,585 (血液) 155
①	前橋赤十字病院	地域がん診療連携拠点病院	(固形) 1,246 (血液) 155
②	済生会前橋病院	指定なし(放射線治療装置がない)	(固形) 546 (血液) 102

- 前橋赤十字病院では同種造血幹細胞移植を行っておらず、令和5年度に群馬県内で実施された同種造血幹細胞移植28件のうち、7件が群馬大学医学部附属病院、21件が済生会前橋病院で行われた。

(病院HPおよび日本造血細胞移植データセンター全国調査報告書より引用)

前橋保健医療圏



- 前橋保健医療圏では、リンパ腫・骨髄腫は主に前橋赤十字病院で、急性白血病は主に済生会前橋病院で診療されている（移植適応のある急性白血病は、診断もしくは疑いの時点で原則として全例が済生会前橋病院に紹介されている）。
- 済生会前橋病院には、前橋保健医療圏のみならず群馬県全域と埼玉県北部・栃木県南部エリアからも紹介されている。
- 済生会前橋病院で診断された急性白血病の患者を、検査を受けるためだけに近隣の大学病院に転院させる、あるいは検査を受けずに寛解導入療法を自院で開始している実態がある。

質を確保した造血器腫瘍におけるゲノム医療提供に向けた提案

<造血器腫瘍の診療体制として>

- 同種造血幹細胞移植を実施する病院

<その他求められる要件>

- 急変時対応可能な病院である
- 医療安全を確保する体制を有すること
- 他病院と連携しての遺伝カウンセリング体制確保
- がんの相談支援が可能な窓口があること
- 診療実績を公開していること
- 院内がん登録の取組を実施していること

上記の要件を満たす施設について、ゲノム医療提供体制を整備することが望ましい。